

一般質問（要旨）

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

市民クラブ

中村 浩 議員

鈴鹿ポイントゲッターズに対する市の対応について

(質問) 鈴鹿ポイントゲッターズはJリーグ参入に必要な百年構想クラブの資格が停止されている。6月に行われるJリーグ理事会でも資格停止が解除されない可能性もあることから、6月までスタジアム建設工事を中断してはどうか。

(答弁) 鈴鹿ポイントゲッターズの運営事業者からは、6月に向けてガバナンスの改善に取り組むとの説明を受けている。また、百年構想クラブの資格停止が解除されなかった場合でも、翌年度以降に向けて、市はホームタウンとしてしっかりと応援していく。

その他の質問 ○高岡水管橋の3回目



れいめい

池田 憲彦 議員

スポーツ施策について

(質問) スケートボードの愛好者が近年増えており、鈴鹿スケートボード協会からスケートボードパークの設置要望書も出ているが、スポーツ施設と併用する公園内に既存の施設を活用して設置してはどうか。

(答弁) 鈴鹿スケートボード協会の求めている施設は、意見交換を通じて初中級者向けの施設であることを把握した。設置の機運を高めるため、協会には、使用許可を得た上で、市の河川防災センター駐車場において体験会や教室などを催すよう提案した。

その他の質問 ○交通安全施策



市民クラブ

薮田 啓介 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

(質問) コロナ禍第6波において自宅療養と自宅待機とがあるが本市の対応はどうか。幼稚園、保育園などの休園が多く見受けられるが対応はどうか。また、休業補償などの市民の生活を守るために支援策はどうなっているのか。

(答弁) 陽性者のうち軽症や無症状の方は自宅療養、濃厚接触者は自宅待機と保健所で案内している。幼稚園、保育園などでは園児間での3密回避が困難なため休園としている。休業された方に対しては、雇用調整助成金や小学校休業等対応助成金などの支援について、周知に努めている。



公明党

藤浪 清司 議員

市民の健康を守る検査・検診について

(質問) 早期発見・治療により、関連する全身疾患の改善にもつながる歯周病の検診を20歳・30歳代の若年層から実施すべきでは。また、骨折を防ぎ、日常生活に支障を来す状態や介護が必要な状態になることを防ぐため、女性の骨粗しょう症検診を実施すべきでは。

(答弁) 歯周病検診は県内4市で40歳未満に対象を拡大し実施しており、若い世代からの対策の必要性は認識している。骨粗しょう症検診も県内4市で実施しており、両検診について、国や他市の施策動向を注視とともに、予防啓発に努める。



市民クラブ

永戸 孝之 議員

サッカースタジアム建設への市民対応について

(質問) 貴重な動植物が生息し公共財産である青少年の森へのスタジアム建設、管理は市が県から設置許可を得て民間企業2社が進めることで市と協定が締結されたが、議会や市民に説明なく新聞報道された。市民からさまざまな不安の声が上がり、署名活動、住民監査請求、提訴まで起きている。情報提供や意見聴取などの市民参画、建設の進め方に課題があったのでは。

(答弁) 情報提供や意見を伺うことが遅くなったことを真摯に受け止め反省している。十分な説明ができていない面もあり、丁寧な説明、情報提供に努める。



市民の声

田中 淳一 議員

道路交通整備について

(質問) 多くの積み残されたカーブミラーの要望を解決するため、カーブミラー設置に対し、ネーミングライツを導入し、財源確保と市民の生命を守る交通安全施設を充実できないのか。また、「鈴鹿市ネーミングライツ導入に関する基本方針」についても早急に改正を求める。

(答弁) 交通安全施設管理者としてカーブミラーの設置目的から判断すると、ネーミングライツの導入はなじまないと考える。

その他の質問 ○健康遊具設置 ○EV車充電スタンド ○水素ステーション ○若者との意見交換

